令和5年度 第4回大島町農業委員会総会議事録

令和5年度定例大島町農業委員会が、令和5年7月24日（月）午前10時より大島町役場3階第3会議室にて開催された。

1、農業委員会委員は、次の通り

1、新保鐵雄	2、向山吉昭	3、中拂晶	4、五十嵐初代	5、笠間隆夫
6、三田一也	7、春木望	8、中山定彦	9、中村富長	10、山本政一

2、農地利用最適化推進委員は、次の通り

1、吉田義孝	2、澤田波夫

3、欠席委員(農業委員・農地利用最適化推進委員)

農業委員 欠席無し 推進委員 1、吉田義孝

4、出席職員は次の通り

中田太 課長
山田貴訓 係長
青木陽尚 主事

5、付議された案件

- 日程第1： 会長報告
日程第2： その他

6、本日の書記は次の通り

主事 青木陽尚

向山議長 皆さん、おはようございます。それでは令和5年度第4回農業委員会総会を開催いたします。本日の出席委員は10名中10名、欠席委員は0名で定足数に達しておりますので、総会は成立しております。なお推進委員の方は2名中1名参加していただいております。ありがとうございます。それでは。

事務局(青木) すみません。その前に事務局から1点謝罪を。通知文と議案の日付に誤りがありまして、そちらで修正させていただいて差し替えさせていただきました。大変申し訳ございませんでした。

向山議長 それでは本日の日程につきましてお諮りいたします。お手元に配布している日程表のとおりといたしますがご異議ございませんか。

(～異議なしの声 多数～)

- 向山議長 はい、ありがとうございます。異議なしという事で。異議なしと認めます。大島町農業委員会規則第41条に規定する議事録署名委員は9番委員と10番委員さんをお願いいたします。なお、本日の会議書記には事務局の青木氏を指名いたします。よろしくお願いいたします。それでは日程第1、「会長報告」について事務局より説明をお願いします。
- 事務局(青木) はい、それでは説明いたします。東京法務局からの「農地の転用事実に関する照会書について」です。すみません。今まで報告させていただけなかったのがまとめてになります。大変申し訳ございません。
- 申請者は〇〇。申請地は□□▲番。面積は▲平方メートルでございます。照会事由ですが、畑を山林に変更するためというものです。令和5年4月6日に現況調査に行きまして、現地調査員は山本委員、中拂委員、吉田委員、そして事務局1名青木で行いました。現地は、山林になっており、地目の変更は妥当だと判断いたしました。
- 続いて非農地判断についてです。申請地は□□▲番▲、▲番▲になります。申請者は〇〇。でこちらの地目を畑から山林に変更するものとなります。面積は▲平方メートルと▲平方メートルになります。こちらは現地調査日が令和5年7月12日に行い、現地調査員は山本委員、新保委員、中拂委員、事務局青木で行いました。次です。申請者は〇〇。申請地は□□▲の▲番。面積が▲平方メートルでございます。申請事由ですが、畑を山林に地目変更するためというものです。調査日は令和5年7月12日。現地調査員は山本委員、新保委員、中拂委員、事務局1名青木で行いました。
- 続きまして非農地証明願出書になります。こちら申請者は〇〇。申請地は□□▲番▲、▲番▲。面積は▲平方メートル、▲平方メートルでございます。申請事由ですが、畑を宅地に地目変更するためというものです。調査日は令和5年6月29日。現地調査は春木委員、山本委員、新保委員と事務局1名青木で行いました。こちらは地目の変更は妥当だと判断いたしました。
- 次になります。申請人は〇〇。申請地は□□▲番▲。面積は▲平方メートルでございます。申請事由ですが、畑を宅地に変更するためというものです。調査日は令和5年4月1日。現地調査員は五十嵐委員、中村委員、中山委員と事務局1名青木で行いました。現地は、宅地になっており、地目の変更は妥当だと判断いたしました。以上になります。
- 向山議長 はい、ありがとうございました。何かこの事について発言のある方。
- 笠間委員 はい。
- 向山議長 はい。5番。
- 笠間委員 この非農地証明。畑が現況で宅地になっているという事ですか。
- 事務局(青木) はい。
- 笠間委員 これは具体的には畑から宅地への転用とかって届けをしていなかったということですか。
- 事務局(青木) 今まではそうですね。去年度の末から行って非農地証明というものをするようになりました。元々登記官照会で行われていたものを申請者が願い出て直接農業委員会が行うという形で進めました。
- 笠間委員 家が建っているのはどのくらい前から建っているのですか。

- 事務局(青木) 基準が20年になっております。20年以上そこが農地として利用されていなかった場合なので20年以上家が建っている事が証明された場合に。
- 笠間委員 じゃあ20年以上前に申請しなかったということですか。
- 事務局(青木) そうです。
- 笠間委員 勝手に宅地にしてそのままだったという事ですか。
- 事務局(青木) はい。地目変更をせずに家を建てたという事になります。
- 笠間委員 それを今回宅地にして、町としてはその方が固定資産税は高くなる。
- 事務局(青木) 税務課では基本的にこういう宅地というのは現況で課税していますので、地目を変更する前から宅地で課税されていると思います。
- 向山議長 宅地並み。
- 事務局(青木) 宅地並の課税をされているので。
- 向山議長 宅地課税です。
- 事務局(青木) 地目も現況の通りになったというところですね。
- 笠間委員 はい、了解です。
- 向山議長 他に誰か何かありましたら。
- 中拂委員 すみません。
- 向山議長 はい。3番。
- 中拂委員 今まで登記官照会っていう形で行っていましたが、直接農業委員会が非農地判断するのは今回からですか。
- 事務局(青木) はい。
- 中拂委員 登記官照会は無くなったという事ですか。
- 事務局(青木) いえ、無くなってはいなくて、法務局に申請を先にしてそこから現況の確認が来るものが登記官照会になるのですが、非農地判断というものは農業委員会が自発的に現況を判断して山林にしますというものになります。もう1つは法務局を経由しないで、直接自分の家が20年以上建っていて非農地ですという申請を願出者から農業委員会にするものが非農地証明になります。
- 中拂委員 という事は、その持ち主がどちらに申請をするかっていう事で対応が変わってくるわけですね。
- 事務局(青木) はい。
- 中拂委員 2通りのやり方があってそれは持ち主の方がどちらに申請をしたかという事で違ってくるのですね。
- 事務局(青木) そうですね。本来は直接農業委員会に非農地証明の願出や非農地判断をするのが一般的です。
- 中拂委員 分かりました。
- 向山議長 他には何か。それでは続きまして日程第2の「その他」について事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局(青木) はい。説明いたします。お手元に追加で資料を配らせて頂きました。第49回永年勤続会員表彰事業の実施についてという事で書類を配布させて頂きました。こちらが農業委員になってから通算5年以上従事された方を対象に表彰するというものになります。

- 向山議長 表彰式には本人が上京して受け取らなければいけないです。
- 事務局(青木) はい。令和5年。表彰の日付が令和5年9月の1日金曜日になります。
- 向山議長 もし仮に、貰いたいという人がいたら事務局ですよ。
- 事務局(青木) はい。事務局にお伝えいただければと思います。
- 向山議長 旅費と宿泊費は出るのですよね。
- 事務局(青木) 出張ですので出ます。
- 向山議長 出張になりますよね。
- 事務局(青木) はい。
- 向山議長 では、決を取りますか。
- 事務局(青木) 今取りますか？
- 向山議長 ここで。
- 事務局(青木) 今すぐに皆さん予定を立てられないと思います。
- 中拂委員 なんの決を採るのですか。
- 向山議長 自書するかどうかだけ。本人の判断なので。
- 事務局(青木) 日程の調整もあると思いますので、各自で事務局にご連絡ください。期限が8月4日で農業会議に推薦書が到着するよという事なので。
- 向山議長 すぐですね。
- 事務局(青木) そうですね。8月1日、2日くらいまでに、表彰に参加される方はご連絡頂ければと思います。続きまして、視察旅行についてです。
- 向山議長 暫時、休憩いたします。
(～休憩中～)
- 向山議長 再開し、審議に入ります。では今の事を事務局の方から説明をお願いします。
- 事務局(青木) はい。農業委員会の視察旅行についてです。今年は1月末頃にあります、花展に参加するのと、大田花きの市場見学という事で内容を調整しまして、こちらで進めさせていただきます。よろしくお願ひ致します。
- 笠間委員 よろしく。
- 向山議長 はい、ありがとうございました。では只今のあれでよろしいですか。
(～はいの声 多数～)
- 向山議長 ではその他ありましたら。特にないようでしたら、これをもちまして第4回大島町農業委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

この会議録は書記が調製したもので、その内容については相違ないことを認め署名する。

大島町農業委員会

委員

大島町農業委員会

委員